

障害のある子をもつ 親の思い 家族への思い

長野市手をつなぐ育成会 会長

(長野県手をつなぐ育成会事務局長)

(ながの障がい児者生活サポート協会事務局長)

障害と成長と不安と

- * 誕生・・・・・・・・・・障害を受け入れ育てる決意
- * 乳幼児期・・・・・・・・・・育児への苦悩
- * 学齢期・・・学校の選択・先生ともだちとの関わり
- * 養護学校高等部・・・卒業後の進路と実習の日々
・・・・・・・・大人になる体の変化
- * 学校卒業・・・・・・・・総合支援法下の生活の始まり
- * 青年期・・・・・・・・自分のやりたいこと・願って何？
- * 成人期・・・・・・・・パターン化した日々・親も若くない
- * 壮年期・・・切実な親の老後・生活スタイルの模索
- * 高齢期・・・・・・・・完全なる親亡き後・人生の終焉

親の悩みあれこれ

子どもは一人っ子の障害者、私(親)の葬式は誰がだしてくれるのだろうか
災害の時の備えはどうすればいいの

今は私ができるからいいけど、年老いて運転ができなくなったら、誰がこの子を病院へ連れてってくれるのだろうか

緊急時にはどこの誰に連絡したらいいのだろうか・・・
はて、緊急時ってどんな時のことだろう・・・

願わくはこの子の最期を見届けてから私は死にたいが・・・
財産の管理は誰に頼めばいいのだろうか・・・

漠然とした不安、今すぐ解決できること、そうでないこと。不安だから何にも考えないように日々過ごしている

障害のない兄弟姉妹へ親の思い

- * 障害のある子にばかり手をかけてしまい、すまない思い
- * 障害のある兄弟姉妹を持っても、あなたの人生を生きて欲しい
- * たとえ障害があっても、家族として受け入れて欲しい
(願わくは障害に理解のある伴侶を見つけて欲しい)
- * 親亡きあと、障害の兄弟姉妹のことで迷惑はかけたくない

障害のある「兄弟姉妹」をもつ 本人の思い

- * おかあさんは私・僕のことをほったらかしにしている
- * 障害のある「兄弟・姉妹」がいることを友達には言えない
- * 母親の役目をいずれは私が背負うのだから結婚はしない
- * たとえ兄弟であっても障害のある兄弟の面倒はみない、親からの援助もいらない
- * 障害のある「きょうだい」がいることで婚約破棄された
- * 両親が亡くなったらいずれは障害のあるきょうだいの世話をすることになるのだらうと、漠然と考えているが福祉のサービスが全く分からない。何をどうしたらいいのだらう
- * 「兄弟・姉妹」の障害がきっかけで、障害福祉の専門職
(支援員・教員)に付きやりがいを感じている

きょうだい支援について

- * 親の会から「兄弟姉妹」の世代交代の時代
- * きょうだい会の存在
- * きょうだいが抱える様々な悩みの共有する場
- * 利用している福祉制度を兄弟姉妹にも伝える
- * 障害があってもなくても、一人の人間として尊厳ある人生をおくる権利が兄弟姉妹共にあること
- * 障害があって誕生したからこそ、社会の中でそのことを強く意識して生きていくことができる機会が、健常のきょうだい同志よりも多いことへの気づき

親亡きあとは親あるうちに

平成29年度に長野市手をつなぐ育成会で「親なきあと」をテーマに回学習会を開催し、みなで将来の悩みをどう解決していったらいいのか学習会を開催しました。

- * 第1回学習会 長野市の地域支援拠点事業について
森と木センター長 岸田 隆 氏
- * 第2階学習会 成年後見人制度について
長野家庭裁判所 主任書記官 小菅 聡史 氏
- * 第3回学習会 障害のある子の家族が知っておきたい
「親なきあと」～親ある間の準備～
世田谷区手をつなぐ親の会副会長 渡部 伸 氏
(行政書士)

長野市版「親なきあと相談室」の開設



☆全国に広げたい「親なきあと」相談室
全国の障害者のいる家族を支えるものだと確
信しています。詳しくは[こちら](http://www.oyanakiato.com)をご覧ください。

www.oyanakiato.com

学習会を開催し多くの親御さんから「親なき相談室」の開設を望む声があり、もともとあった長野市心身障害者相談員制度の知的障害者相談員の名称を、長野市障害福祉課の協力と長野市社会福祉協議会のバックアップをいただき「親なき相談室」の呼称をつけて、長野市社協で相談を受け付けてもらえるようになりました。

全国でも「親なき相談室」は40か所ほどあり、多くの市町村で相談室ができています。

長野市版大切な人へ
ファイルの作成へ